



東中学校との統合により来年3月で49年の歴史に幕を下ろす西中学校に閉校記念碑が完成し、11月5日に除幕式が行われました。閉校記念事業実行委員会が中心となり、閉校を惜しみ思い出を偲ぶ記念の碑として建てられました。約5500人が集った西中学校の最後の在校生を代表し、佐藤拓未くん(3年)が「最後の西中生として、学校生活を充実させ、記念碑に恥じないよう有終の美を飾りたい」と述べました。

幸寿ヶ原に「学びの窓を偲ぶ碑」 西中学校閉校記念碑を建立



10月28日、蚕桑地区公民館で、町交通安全母の会による高齢者交通安全実践教室が開催されました。高齢者に事故にあわないための注意点を心に留めてもらおうと会員が交通漫談を演じたほか、暗くした会場で、夜間に見えにくい服の色や外出時に身に付ける反射材の効果を目で確認し、会員の手によって参加者ひとり一人の靴に反射材が貼られました。参加者からは終始笑いが起こり、交通安全を楽しく学んだ教室でした。

油断しないで！交通安全の心がけ 高齢者交通安全実践教室

蚕桑小学校が、大日本蚕糸会の平成26年度「蚕を学ぶ奨励賞」を受賞しました。蚕桑小学校では、養蚕が盛んだった蚕桑地区の歴史と絹文化を学ぼうと、平成14年度から、地域の「蚕の先生」に蚕の習性などを教わって飼育に取り組み、繭細工や桑の葉を使ったお菓子づくりも行っています。現在は3年生の総合学習として、今年度も6月から2100頭を飼育しました。



総合学習で飼育に取り組む3年生

蚕桑小学校が

蚕を学ぶ奨励賞 を受賞



蚕の学習資料室で、繭の「毛羽取り」

し、「蚕の学習資料室」として地域にも公開されています。10月10日には受賞祝賀会が開かれ、蚕の先生として毎年飼育に携わっている新野孝一さん(横田尻)は、「地域の学校で蚕の飼育をお手伝いできることは喜びであり、蚕の学習が続く限りお手伝いしていきたい。」と話されました。「ふるさとを愛する心を育んだ『こぐわっ子』が、将来蚕を使った新しい繊維を開発する研究者となってくれることを期待している」と校長先生。3学期には真綿取りをするほか、6年生は繭のコサージュを作る予定です。



鮎貝駅前中継所で、たすきは竹田裕道選手から小林咲葉選手へ。

白鷹町が3年ぶりに優勝！
西置賜地区駅伝競走大会
11月2日、第56回西置賜地区駅伝競走大会が開催されました。
白鷹町は10月の町駅伝大会で選出の候補選手で編成した2チームが出場。小国・飯豊・白鷹・長井の11区間をたすきでつなぎ、白鷹Aチームが優勝しました。
【区間新記録】
11区 樋口 勝利(浅立)
【区間賞】
5区 渡部功将(山口)
7区 手塚雄一朗(十王)
8区 小出央人(新潟大学2年)
9区 竹田裕道(茨城県中央高校2年)
10区 小林咲葉(西中1年)
11区 樋口勝利(浅立)